

---

# Crazy stalker boy

吹上 香

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

Crazy stalker boy

### 【コード】

N34620

### 【作者名】

吹上 香

### 【あらすじ】

common girlのストーカー視点ばいのです

(前書き)

common girlの視点変更したやつ

彼女は、僕の事に気付いてるようだ…  
でも、彼女は僕からの電話に出てくれない

さっきから散々鳴らしているのに…

「まったく……」

彼女は外を見つめている時に僕を探すんだ

それは、まるで興味を持った目で…

けれど、見つけた途端あの子は僕のほうを見つめて、にこやかに笑うんだ…

その笑みがなんとなく狂気じみているのだ…  
彼女からすれば、それは、遊びなのだろうけど

僕からすれば、それはおかしな行動に見えるのだ…

二階の窓から保健室がよく見えた…

彼女はそこで、ふらっと勢いよく倒れた…  
あらかた持病の貧血だろう…

僕としては、病院にいけばいいものを、彼女は病院が嫌いらしく、  
行こうとはしないみたいだ…

ピッ

機械じみた電子音を鳴らし、その発声源となった機械を耳に当てる

何回も何回も同じ動作を繰り返す

どうせ、彼女は気を失ってるけど、僕にはこういつことしか愛情が  
伝えられないから

何回も繰り返すといきなり、『はい、もしもし』「やっと、でて  
くれたね」

そういったとたんに、電話が切れた…

ああ、彼女は…こっちをみた、微妙に楽しんだ顔して、指をさした

僕もまたニタアと笑った…

詮索はいけないとおもうよ

(後書き)

なんか、不完全燃焼

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n3462o/>

---

Crazy stalker boy

2010年10月16日20時47分発行